

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	13
事業名	検診等事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	2
施策	2 人にやさしいまち	課名	健康長寿課		
	2-1 健康に暮らすまちをつくる	係名			
	2-1-1 自らの健康づくりの推進				
主要施策	②各種健診の充実	⑥感染症対策の推進			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	20歳以上の女性 40歳以上の男女	目的 (対象がどのような状態になっているか)	各種がん検診等の受診を勧奨し、疾病の早期発見・早期治療を行う。
事業内容	・対象年齢のいる全世帯に検診申込書を配布し、受診希望者を募り検診希望者には受診票を送付する。検診結果により要精密検査の方には専門機関の受診を促し、疾病を早期発見・早期治療する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)	
指標	1	各種検診受診者数	11,455	11,346	10,648	人	↑	12,200	
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			29,912		34,007		36,995		
財源内訳	直接事業費 A		26,432		27,977		33,605		
	うち一般財源		26,432		27,977		33,605		
人件費(千円) B			3,480		6,030		3,390		
内訳	一般職員(人・千円)		0.5		3300		0.35		2310
	臨時職員(人・千円)		0.1		180		0.6		1080

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	女性のがん検診の受診方法について、医療機関で受診できる方向性で検討する。	③取組の課題	早期発見のため集団検診だけでなく、医療機関で個別で受診できるような体制づくりが必要。
②R2年度に実施した取り組み	今年度はコロナ感染症のため、医療機関での受診については検討・調整することができなかった。	④今後の改善計画	女性のがん検診について、個別検診の対象を広げる方向を検討する。